

ICS システム 財務処理 db

# 銀行データ受信 (FinTech 対応)

## 操作マニュアル

●注意

- ・「銀行データ受信 (FinTech 対応)」は、日本 ICS 株式会社が著作権を有するシステムです。
- ・本マニュアルでは、操作方法や機能について解りやすく説明しています。
- ・本マニュアルに記載している画面等は開発中の内容も含まれる為、予告なく変更する場合があります。
- ・本マニュアルに記載している会社名、氏名、名称等は、架空のものです。
- ・本マニュアルに記載している内容は、作成時点の法令に基づいています。
- ・本マニュアルから許可なく転記、複写することを固く禁じます。

●商標

- ・Microsoft、Windows 及び Microsoft Office 製品は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標又は登録商標です。
- ・Adobe、Adobe ロゴは Adobe Systems Incorporated の商標又は登録商標です。
- ・Moneytree はマネーツリー株式会社の登録商標です。
- ・本文中では “™” 及び “®” マークは明記していません。



<b>1章</b>	<b>銀行データ受信について</b>	<b>1</b>
1	概要	2
2	処理の流れ	3
	「銀行データ受信 (FinTech 対応)」で仕訳データを作成する	3
3	初期設定をする	4
	金融データについて	4
	使用するにあたって	4
	Moneytree アカウントと連携する	5
4	搭載プログラムの業務一覧	8
	銀行データ受信 (FinTech 対応)	8
5	操作画面を知る	9
	銀行データ受信 (FinTech 対応)	9
<b>2章</b>	<b>仕訳データを作成する</b>	<b>15</b>
1	金融データから仕訳データを作成する	16
	2 種類の指定方法	16
	仕訳データを作成する (通常表示)	17
	仕訳データを作成する (日付指定)	19
2	こんな仕訳を作成するには	21
	複合仕訳を作成する	21
<b>3章</b>	<b>こんなときは</b>	<b>23</b>
	Q&A	24
<b>索引</b>	<b>31</b>	



# 1章

## 銀行データ受信について

### 銀行データ受信について

1 概要	2
2 処理の流れ	3
3 初期設定をする	4
4 搭載プログラムの業務一覧	8
5 操作画面を知る	9

# 1

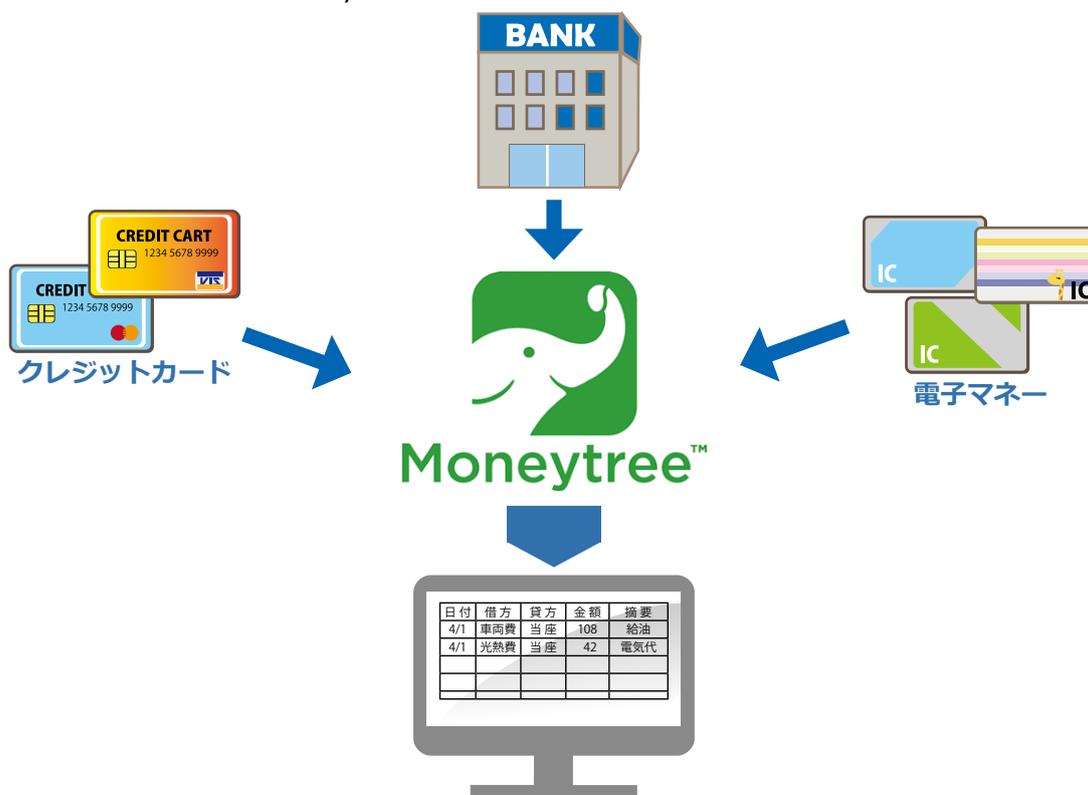
## 1章 銀行データ受信について

### 1 概要

「銀行データ受信（FinTech 対応）」は Moneytree に登録した金融機関のデータをインターネットを通じて自動で受信し、財務マスターに仕訳データとして転記する業務です。

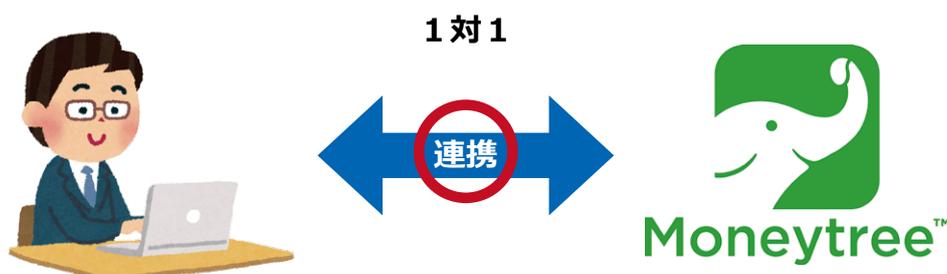
#### ■ Moneytree から金融データを自動で受信

業務を起動するだけで、Moneytree に登録した金融機関の取引データ（金融データ）を自動で受信します。今までは銀行、クレジットカード、電子マネーなどの明細データの取得を金融機関ごとに行う必要がありましたが、Moneytree に登録するだけで一元管理、一括取得できるようになります。「銀行データ受信（FinTech 対応）」は、Moneytree と連携して金融データの受信と仕訳データの作成を行います。



#### ■ 財務マスターと連携

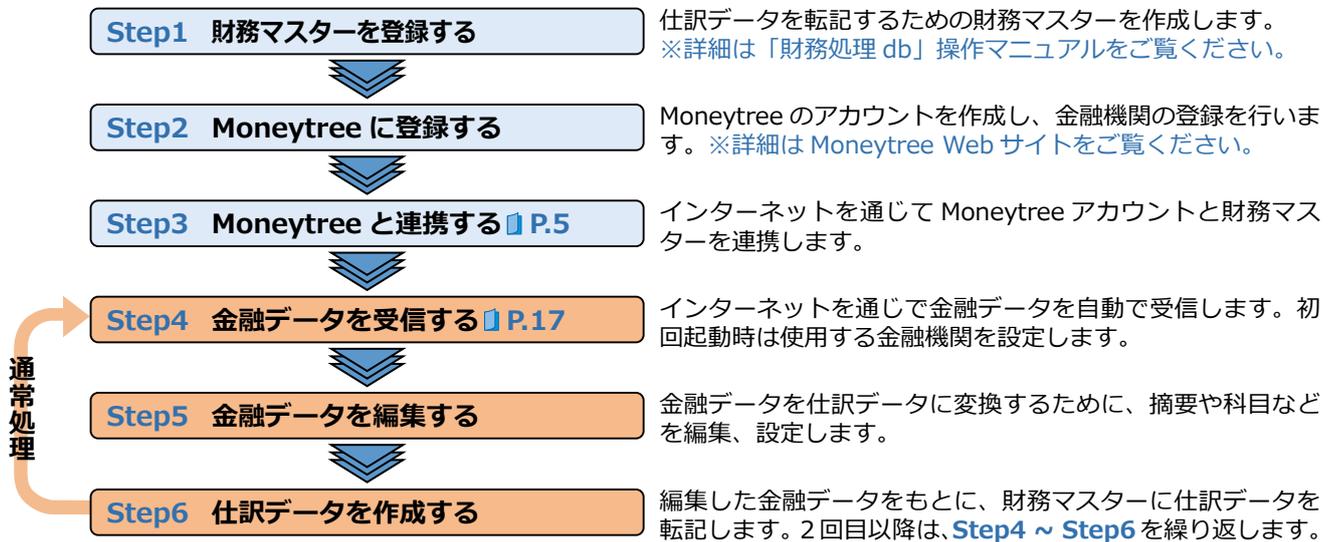
1つの財務マスターに対し1つの Moneytree アカウントを連携できます。



## 2 処理の流れ

「銀行データ受信 (FinTech 対応)」は、Moneytree のアカウントと財務マスターを連携して金融データを自動で受信し、仕訳データを作成します。

### 「銀行データ受信 (FinTech 対応)」で仕訳データを作成する



## 3 初期設定をする

### 金融データについて

#### ●受信する金融データの範囲

Moneytree が取得した金融機関の金融データのうち、財務マスターの事業期間内に発生した金融データを受信します。金融機関の Web サイトで照会できる期間が過ぎた金融データであっても Moneytree に蓄積されていれば受信し、取り込むことができます。



### 使用するにあたって

#### ●環境

「銀行データ受信 (FinTech 対応)」をご使用いただくにはインターネット環境が必要です。インターネットに接続していない場合は処理できません。

#### ●業種区分

Moneytree では1つのアカウントに個人口座と法人口座を登録できます。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」の「業種区分」に関わらず、個人口座と法人口座の両方のデータを取得します。

#### ●マスターの種類

合併マスターは Moneytree アカウントとは連携できません。合併マスター以外のマスターを使用してください。

# Moneytree アカウントと連携する

金融データを受信するために、財務マスターと Moneytree アカウントの連携を行います。あらかじめ Moneytree アカウントを作成しておく必要があります。登録についての詳細は、Moneytree Web サイトをご覧ください。

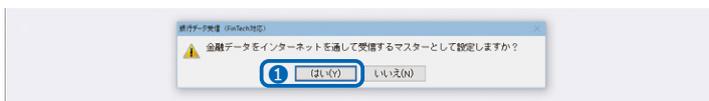
## 1 「銀行データ受信 (FinTech 対応)」を実行

- 1 「業務選択」から「銀行データ受信 (FinTech 対応)」→「銀行データ受信 (FinTech 対応)」を選択します。

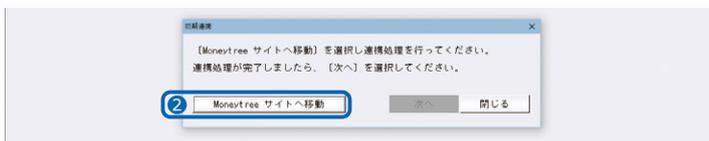


## 2 Moneytree アカウントと連携

- 1 「はい(Y)」を選択します。



- 2 「Moneytree サイトへ移動」を選択します。インターネットブラウザが起動し、Moneytree の画面を表示します。



- 3 メールアドレスとパスワードを入力します。既にログインした場合は⑤に進みます。

- 4 「Moneytree ID でログイン」を選択します。

### Moneytree のアカウントが未登録の場合

あらかじめ Moneytree アカウントの作成を行っていない場合、「新規登録」からアカウントを作成できます。

Moneytree IDでログインして日本 I C S 株式会社に連携する

3 メールアドレスを入力してください  
メールアドレス  
パスワードを入力してください  
パスワード

次回ログイン状態を保持

4 Moneytree ID でログイン

- 5 「連携する」を選択します。

日本 I C S 株式会社は、次の情報へのアクセスを求めています

- 5 基本情報の閲覧
- 残高の閲覧
- 明細の閲覧
- 資産情報の取得

アクセスの許可により、上記の項目のみ連携します。アカウント設定からアクセスはいつでも解除できます。

なお、連携により「日本 I C S 株式会社」に提供された情報は、「日本 I C S 株式会社」において、その用途または本ポリシーに準拠した目的のために利用されます。

Moneytreeの社務連絡と個人情報保護方針

キャンセル 連携する 5

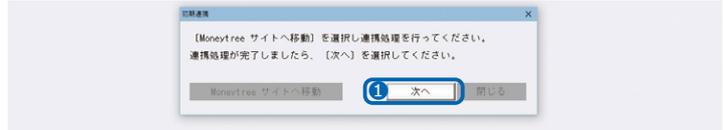
- 6 インターネットブラウザ閉じ、業務画面に戻ります。

正しく連携処理が終了しました。

ブラウザを閉じて銀行データ受信 (FinTech 対応) 業務に戻り [次へ] を選択してください。

### 3 連携情報を受信

1 「次へ」を選択します。



2 金融データの受信が完了するまで待ちます。

#### セキュリティの認証

金融機関によって、ワンタイムパスワードや秘密の質問など、セキュリティの認証を求められる場合があります。 [P.26](#)



3 OK を選択します。



### 4 金融機関を設定

1 使用する金融機関の「使用」に☑を付けます。



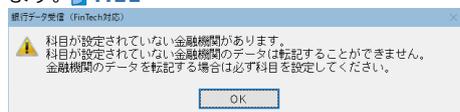
2 割り当てる「科目」などを設定します。



3 OK を選択します。

#### 科目の選択

使用する金融機関に科目を選択する必要があります。後で選択する場合は受信後に [金融機関設定](#) から行えます。 [P.11](#)





## 連携可能数について

連携できる上限を超えて連携しようとした場合、注意メッセージを表示します。



## 4 搭載プログラムの業務一覧

### 銀行データ受信 (FinTech 対応)

銀行CSV取込 ☆銀行データ受信 (FinTech対応)



銀行データ受信 (FinTech対応)

1. 銀行データ受信 (FinTech対応)

#### 銀行データ受信 (FinTech 対応) P.9

連携した Moneytree アカウントから、銀行口座やクレジットカード、電子マネーの情報を受信し、財務マスターに仕訳データとして転記する業務です。

# 5 操作画面を知る

## 銀行データ受信 (FinTech 対応)

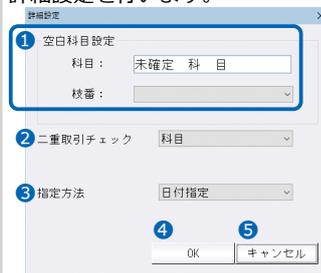
項目	内容
① メニューバー	
ファイル	アプリケーションの終了：表示中の業務を終了します。
表示	それぞれの表示・非表示を切り替えます。
オプション	取込設定：AI から割り出した科目を自動で設定する場合は☑を付けます。
ウィンドウ	マルチウィンドウ時にウィンドウの表示方法を変更します。
連携解除	連携を解除する：Moneytree アカウントと財務マスターの連携を解除します。  <input type="button" value="はい(Y)"/> : 連携を解除します。再度連携を行う場合は、連携処理を行ってください。 <b>P.5</b> <input type="button" value="いいえ(N)"/> : 連携を解除せずに、処理に戻ります。
ヘルプ	バージョン情報とヘルプマニュアルを表示します。
② プログラムツールバー	
 前項目	1 つ前にカーソルが移動します。
 摘要仕訳選択	選択した金融データから作成する仕訳を選択します。「⑫摘要」が⑬ 摘要登録 (Insert) または「財務 db」→「登録・入力」→「科目設定・残高登録」で複数の自動仕訳を登録した摘要と同じ場合に表示します。仕訳の追加、編集は  で行います。



① 使用	作成する仕訳に☑を付けます。
部門	部門を表示します。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」の「経理処理情報」で「部門入力」を「行う」に設定した場合に表示します。詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。
科目	科目と枝番を表示します。
仕訳転記摘要	「①仕訳転記摘要」にセットする摘要を表示します。
② OK	「①使用」で☑を付けた仕訳を作成します。
③ キャンセル	仕訳を作成せずに画面を閉じます。

F6  
詳細設定

詳細設定を行います。



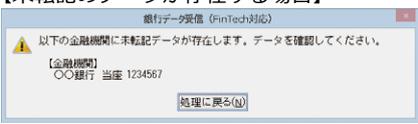
① 空白科目設定	科目が未設定のままの金融データを転記する場合に使用する科目や枝番を選択します。
② 二重取引チェック	取引の二重計上を判定するための項目を選択します。選択項目は「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」の「経理処理情報」で設定した「部門入力」と「枝番入力」により異なります。詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。
③ 指定方法	表示する金融データの指定方法を選択します。 通常表示：「④（前回転記時）データ更新日時」以降のデータを表示します。 日付指定：「④（前回転記時）データ更新日時」以前のデータも含め、指定した期間のデータを表示します。
④ OK	設定を保存して画面を閉じます。
⑤ キャンセル	設定をキャンセルして画面を閉じます。

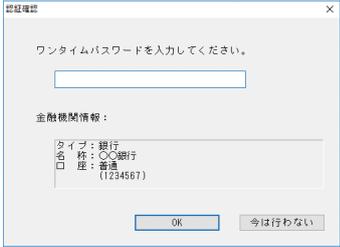
F7  
金融機関設定

使用する金融機関と勘定科目を設定します。



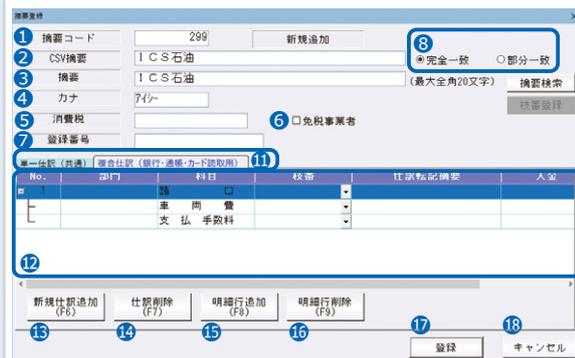
① 使用	使用する金融機関を選択します。
口座種別	口座種別を表示します。
金融機関名	金融機関名を表示します。
種別	種別を表示します。
部門	部門を選択します。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」の「経理処理情報」で「部門入力」を「行う」に設定した場合に表示します。詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。
科目	科目を選択します。

	<p>枝番 枝番を選択します。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」の「経理処理情報」で「枝番入力」を「行う」に設定した場合に表示します。詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。</p> <p>相手部門 相手部門を選択します。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」の「経理処理情報」で「部門入力」を「行う」に設定した場合に表示します。詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。</p> <p>2 OK 設定を保存して画面を閉じます。</p> <p>3 キャンセル 設定をキャンセルし、画面を閉じます。</p> <p>4 ↑ ↓ 選択した行を上下へ移動し、並び替えを行います。</p>
F8 明細行追加	複合仕訳を作成するために明細行を追加します。
F9 明細行削除	追加した明細行を削除します。
F11 摘要仕訳編集	<p>摘要辞書に登録済みの摘要へ自動仕訳の編集や追加登録ができます。編集した内容は次回起動時に反映します。</p>  <p>1 登録摘要一覧 摘要辞書に登録済みの摘要を表示します。</p> <p>2 摘要検索 摘要辞書をカナ検索して「1 登録摘要一覧」に呼び出します。</p> <p>3 CSV 摘要設定 CSV 摘要と「2 摘要」を紐づけるための判定方法を選択します。 完全一致：CSV 摘要と「2 摘要」の名称が同一の場合に一致と判定します。 部分一致：CSV 摘要の名称が「2 摘要」に含まれている場合に一致と判定します。</p> <p>4 単一仕訳 / 複合仕訳 登録する仕訳の種類を選択します。</p> <p>5 登録仕訳一覧 登録済みの仕訳を表示します。</p> <p>6 新規仕訳追加 (F8) 「5 登録仕訳一覧」に新規行を追加します。</p> <p>7 仕訳削除 (F7) 「5 登録仕訳一覧」でカーソルを止めた仕訳行を削除します。</p> <p>8 明細行追加 (F8) 「5 登録仕訳一覧」に明細行を追加します。複合仕訳の登録時に表示します。</p> <p>9 明細行削除 (F9) 「5 登録仕訳一覧」でカーソルを止めた明細行を削除します。複合仕訳の登録時に表示します。</p> <p>10 戻 (End) 登録した内容を保存し、画面を閉じます。</p>
F12 全削除	<p>選択中でない金融機関も含めて、すべての金融データを削除します。</p>  <p>はい(Y) : 受信した金融データを削除して、業務を終了します。</p> <p>いいえ(N) : 受信した金融データを削除せず、処理に戻ります。</p>
End 処理終了	<p>業務を終了します。 【未転記のデータが存在しない場合】</p>  <p>処理終了(Y) : 業務を終了します。</p> <p>処理に戻る(N) : 処理に戻ります。</p> <p>【未転記のデータが存在する場合】</p>  <p>処理に戻る(N) : 処理に戻り、未転記の金融データを確認します。転記を行わずに終了する場合は、「2 転記」の☑を外すか、2 F12 全削除を選択して未転記の金融データを削除します。</p>
3 金融機関 再認証	<p>処理を行う金融機関を選択します。</p> <p>金融データ受信時のワンタイムパスワード入力や画像認証で今は行わないを選択した場合に表示します。金融データを受信するためには認証が必要です。</p>

	<p>【ワンタイムパスワードの場合】 金融機関が発行するワンタイムパスワードを入力します。</p>  <p>OK : 入力した内容で認証を行います。 今は行わない : 認証を行いません。</p>
	<p>【画像認証の場合】 ブラウザで Moneytree を開き、案内に応じて認証を行います。</p>
④	<p>〔今回受信時〕データ更新日時 金融データを受信した日時を表示します。ワンタイムパスワードや画像認証が必要な場合は日時を表示しません。</p> <p>〔前回転記時〕データ更新日時 前回の「④〔今回受信時〕データ更新日時」を表示します。初回の受信以降更新していない場合は「なし」と表示します。②金融機関設定の「③指定方法」で「通常表示」を選択した場合に更新・表示します。</p>
⑤	最終同期日時 「③金融機関」から最後に金融データを受信した日時を表示します。
⑥	日付指定 表示する金融データを月や日で指定します。②金融機関設定の「④指定方法」で「日付指定」を選択した場合に表示します。詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。
⑦	部門 金融機関に設定した部門を表示します。変更は、②金融機関設定から行います。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」の「経理処理情報」で「部門入力」を「行う」に設定した場合に表示します。詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。
⑧	科目 金融機関に設定した科目を表示します。変更は、②金融機関設定から行います。
⑨	枝番 金融機関に設定した枝番を表示します。変更は、②金融機関設定から行います。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」の「経理処理情報」で「枝番入力」を「行う」に設定した場合に表示します。詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。
⑩	未確定科目数 「⑫科目」が未設定の金融データの数 / 「⑫転記」に☑を付けた金融データの数を表示します。
⑪	全選択 / 全解除 「⑫転記」のすべての☑を付け外します。
⑫	<p>日付 受信した金融データの日付を表示します。</p> <p>摘要 受信した金融データの摘要を表示します。</p> <p>仕訳転記摘要 仕訳データとして転記する際の摘要を入力します。⑭摘要検索 (Home) から摘要辞書を検索して入力することもできます。</p> <p>部門 部門を入力します。部門の選択から選択して入力することもできます。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」の「経理処理情報」で「部門入力」を「行う」に設定した場合に表示します。詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。</p>  <p>科目 科目を入力します。科目の選択から選択して入力することもできます。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」の「経理処理情報」で「枝番入力」を「行う」に設定した場合は枝番も入力できます。詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。</p> 
	入金 受信した金融データの入金額を表示します。
	出金 受信した金融データの出金額を表示します。
	通帳残高 受信した金融データの通帳残高を表示します。クレジットカードの場合は表示しません。
	科目残高 ②金融機関設定で設定した科目の残高を表示します。
	転記 ☑を付けた金融データを仕訳データとして転記します。前回転記時に受信していたデータの最終日のデータは「前回」と表示します。

13 摘要登録 (Insert)

選択した「12 摘要」のすべてまたは一部の文字列を摘要辞書へ登録します。摘要辞書に登録済みの場合は名称や自動仕訳などを編集できます。登録した摘要は「財務処理 db」→「登録・入力」→「科目設定・残高登録」→「摘要登録」→「摘要辞書登録」に表示します。詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。



1 摘要コード	摘要辞書に登録するコードを入力します。登録済みのコードを入力した場合は 新規追加 から 上書き に切り替わり、変更内容を上書き保存します。
2 CSV 摘要	登録する摘要を入力します。
3 摘要	「12 仕訳転記摘要」に設定する摘要を入力します。
4 カナ	摘要をカナ検索する際のフリガナを入力します。
5 消費税	消費税を選択します。
6 免税事業者	免税事業者からの課税仕入れの場合に選択します。
7 登録番号	適格請求書発行事業者の登録番号を 13 桁の数字で入力します。
8 CSV 摘要設定	CSV 摘要と「12 摘要」を紐づけるための判定方法を選択します。 完全一致：CSV 摘要と「12 摘要」の名称が同一の場合に一致と判定します。 部分一致：CSV 摘要の名称が「12 摘要」に含まれている場合に一致と判定します。
9 摘要検索	摘要辞書をカナ検索して「3 摘要」と「4 カナ」に呼び出します。
10 枝番登録	摘要に割り付ける枝番を登録します。「12 登録仕訳一覧」で科目が登録されている仕訳行にカーソルを止めると選択できます。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」の「経理処理情報」で「枝番入力」を「行う」に設定している場合に表示します。詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。
11 単一仕訳 / 複合仕訳	登録する仕訳の種類を選択します。
12 登録仕訳一覧	登録済みの仕訳を表示します。
13 新規仕訳追加 (F6)	「12 登録仕訳一覧」に新規行を追加します。
14 仕訳削除 (F7)	「12 登録仕訳一覧」でカーソルを止めた仕訳行を削除します。
15 明細行追加 (F8)	「12 登録仕訳一覧」に明細行を追加します。複合仕訳の登録時に表示します。
16 明細行削除 (F9)	「12 登録仕訳一覧」でカーソルを止めた明細行を削除します。複合仕訳の登録時に表示します。
17 登録	摘要辞書に登録し、画面を閉じます。
18 キャンセル	登録をキャンセルし、画面を閉じます。

14 摘要検索 (Home)

摘要辞書をカナで検索して「12 仕訳転記摘要」に転記します。

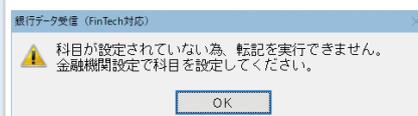
15 通帳残高一当科目の仮残高 =

転記する仕訳データの二重計上と入力漏れを確認するため、通帳残高と当帳簿の仮残高と差額を表示します。正しく計上できている場合は差額が「0」になります。クレジットカードの場合は表示しません。  
通帳残高：金融機関の通帳に表示している最終残高  
当科目の仮残高：入力済みの帳簿の科目残高と「12 転記」に☑を付けた金融データの「12 入金」、「12 出金」の計算結果

16 転記開始

「12 転記」に☑を付けた金融データを財務マスターの仕訳データとして転記します。「12 科目」が未設定の金融データの場合は② 金融機関設定 の「2 空白科目設定」の科目で仕訳データを作成します。金融機関の「8 科目」が未設定の場合は転記できません。

【金融機関の科目が未設定の場合】

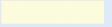
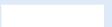
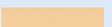
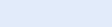


OK : 処理に戻り、② 金融機関設定 を表示します。



## 仕訳データの二重計上防止機能と背景色

口座間の振替など、同じ取引の仕訳データを作成してしまわないよう、二重計上防止機能を備えています。日付、借方、貸方の勘定科目、部門、枝番と金額が同じ仕訳データを「財務処理 db」→「登録・入力」→「仕訳入力」へ入力した場合に背景色をオレンジで表示し、転記の☑を外します。☑を付けて転記することもできます。部門と枝番を判定に使用するかどうかを F6 詳細設定 から選択できます。 **P.10**

-  イエロー：科目が未設定の金融データ
-  ホワイト：科目を設定した金融データ
-  オレンジ：「財務処理 db」→「登録・入力」→「仕訳入力」に入力した仕訳データと重複している金融データ
-  グレー：転記済みまたは重複以外で転記の☑を外した金融データ

# 仕訳データを作成する

### 仕訳データを作成する

- |                     |    |
|---------------------|----|
| 1 金融データから仕訳データを作成する | 16 |
| 2 こんな仕訳を作成するには      | 21 |

# 2

## 章 仕訳データを作成する

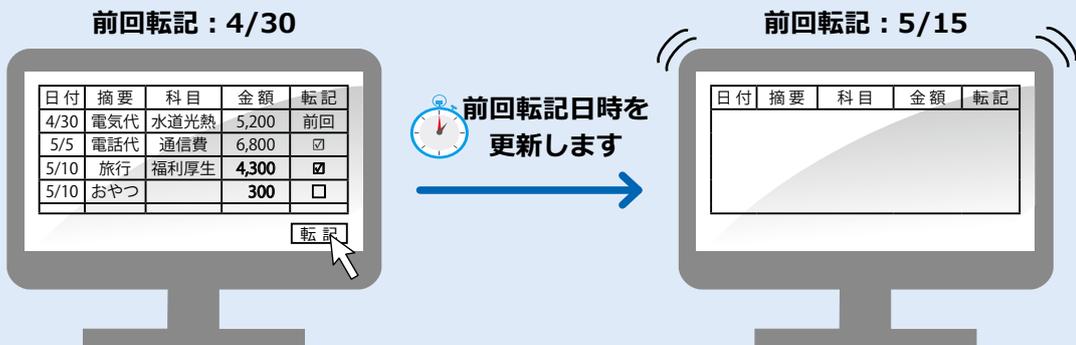
### 1 金融データから仕訳データを作成する

#### 2 種類の指定方法

受信した金融データを編集し、財務マスターに仕訳データとして転記します。金融データの表示指定方法は、前回転記分以降のデータを表示する「通常表示」と、データの期間を指定して転記済み分も含めて表示する「日付指定」の2種類から選択できます。

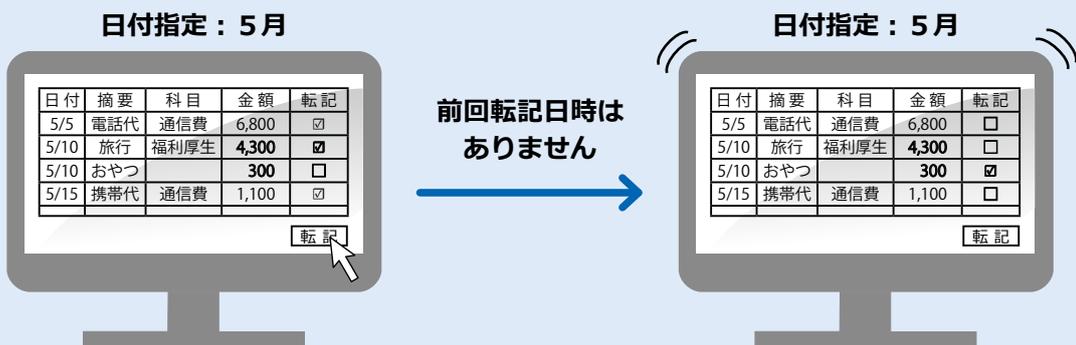
##### ● 通常表示 P.17

受信したすべての金融データを表示します。前回以前に転記したデータは、前回転記時の最終日分データのみ表示するため、処理していないデータを把握できます。転記をすると「〔前回転記時〕データ更新日時」を更新し、転記済み・未転記に関わらず「〔前回転記時〕データ更新日時」以前のデータは表示対象から除外します。



##### ● 日付指定 P.19

期間を設定して金融データを表示することで、日ごとや月ごと、3か月ごとなどの取引を把握できます。設定期間内のデータは転記済み・未転記に関わらず表示するため、通常表示では「〔前回転記時〕データ更新日時」を境に除外していた過去のデータの参照や転記ができます。



# 仕訳データを作成する（通常表示）

前回転記以降に受信した金融データを編集し、財務マスターに仕訳データとして転記します。

## 1 「銀行データ受信（FinTech 対応）」を実行

- 1 「業務選択」から「銀行データ受信（FinTech 対応）」→「銀行データ受信（FinTech 対応）」を選択します。

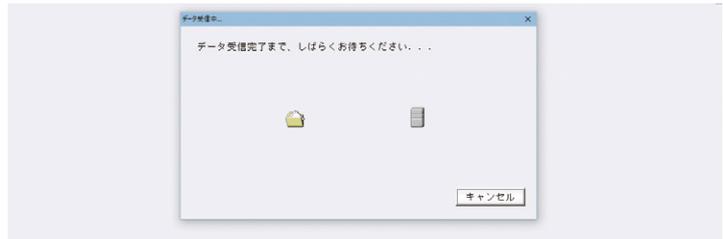


## 2 金融データを受信

- 1 金融データの受信が完了するまで待ちます。

### セキュリティの認証

金融機関によって、ワンタイムパスワードや秘密の質問など、セキュリティ認証を求められる場合があります。 [P.26](#)



## 3 通常表示に切り替え

不要な場合は、 [4](#) へ進んでください。

- 1 [詳細設定](#) を選択します。
- 2 「指定方法」を「通常表示」に設定します。
- 3 [OK](#) を選択します。



## 4 金融データを編集

- 1 金融機関を選択します。
- 2 「仕訳転記摘要」、「科目」などを入力します。

### 摘要から推測した科目を表示させる

オプションの「取込設定」で「摘要から推測した科目を自動取得する」に☑を付けると、AIから割り出した科目を自動で設定できます。 [P.9](#)



## 5 仕訳データを作成

① 「転記」に☑が付いていることを確認します。

### 前回転記済みデータ

「転記」に「前回」と表示されたデータは前回転記時の最終日分のデータのため、処理済とみなされ転記は行えません。前回転記時以前のデータを転記する場合は、[詳細設定](#)の「指定方法」を「日付指定」に変更してください。 [P.19](#)

② 「転記開始」を選択します。

### オレンジ色の金融データ

各データの背景色は科目「転記」の☑や科目の入力状況などによって変わります。背景がオレンジのデータは「二重取引チェック」により取引の二重計上であると判断したデータです。 [P.14](#)

③ 「はい(Y)」を選択します。

④ OKを選択します。

〇〇銀行 当座 [今回受信時] データ更新日時 20XX/XX/XX XX:XX

最終同期日時: 20XX/XX/XX XX:XX  
未確定科目数: 0 / 0 全選択 / 全解除

日付	摘要	仕訳転記摘要	部門	科目	入金	出金	消費税	通帳残高	科目残高	転記
10.04	オオサカシ スライド	オオサカシ スライド	水道	光熱費	0	4,014	円10	3,000,000	3,000,000	☑
10.05	IC Sコムウェア	インターネットプロ	通信	費	0	8,552	円10	2,991,448	2,991,448	☑
10.06	デンキ 9ガツパン	電気代 9月分	水道	光熱費	0	8,235	円10	2,983,213	2,983,213	☑
10.06	デンワ 9ガツパン	電話代 9月分	通信	費	0	7,219	円10	2,975,994	2,975,994	☑
10.07	IC Sケータイ 9	社員用PHS 9月分	通信	費	0	140,100	円10	2,835,884	2,835,884	☑
10.11	ABCリョコウダイキ	社員旅行代金	福利	厚生費	0	1,368,200	円10	1,467,694	1,467,694	☑
10.12	××銀行	振替 [0001]大	当座	預金	1,400,000	0	円10	2,867,694	2,867,694	☑

①

② 転記開始

③

はい(Y) いいえ(N)

〇〇銀行 当座  
転記を開始します。

④

OK

銀行データ受信 (FinTech対応)  
転記終了 (例外)



### 転記後のメッセージ

通常表示での転記後は「転記」の☑を外したデータも含めて「転記済み」の扱いになり、表示をクリアします。他に未転記の金融機関がある場合はメッセージを表示します。

はい(Y) : 自動で次の金融機関に切り替えます。

いいえ(N) : 金融機関の切り替えは手動で行う必要があります。

銀行データ受信 (FinTech対応)

⚠ 継続して、次の金融機関の処理を行いますか？

はい(Y) いいえ(N)

# 仕訳データを作成する（日付指定）

受信した金融データを日付指定で表示・編集し、財務マスターに仕訳データとして転記します。前回転記時以前のデータを転記することもできます。

## 1 「銀行データ受信（FinTech 対応）」を実行

- 1 「業務選択」から「銀行データ受信（FinTech 対応）」→「銀行データ受信（FinTech 対応）」を選択します。



## 2 金融データを受信

- 1 金融データの受信が完了するまで待ちます。

### セキュリティの認証

金融機関によって、ワンタイムパスワードや秘密の質問など、セキュリティの認証を求められる場合があります。P.26



## 3 日付指定に切り替え

不要な場合は、4へ進んでください。

- 1 **詳細設定** を選択します。



- 2 「指定方法」を「日付指定」に設定します。



- 3 **OK** を選択します。

## 4 金融データを編集

- 1 金融機関を選択します。
- 2 表示するデータの期間を指定します。
- 3 「仕訳転記摘要」、「科目」などを入力します。



## 5 仕訳データを作成

① 「転記」に☑が付いていることを確認します。

② 転記開始 を選択します。

③ はい(Y) を選択します。

④ OK を選択します。

〇〇銀行 当座 (今回受信時) データ更新日時 20XX/XX/XX XX:XX 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 XX年10月01日 ~ 21年10月31日

最終同期日時: 20XX/XX/XX XX:XX  
未確定科目数: 0 / 6 全選択 / 全解除

日付	摘要	仕訳転記摘要	部門	科目	入金	出金	消費税	通帳残高	科目残高	転記
10.04	オオワカン スライド	オオワカン スライド	水	水道 光熱費	0	4,014	内10	3,000,000	3,000,000	☑
10.05	ICSコムウェア	インターネットプロ	通	通信 費	0	8,552	内10	2,991,448	2,991,448	☑
10.06	デンキ 9ガツパン	電気代 9月分	水	水道 光熱費	0	8,235	内10	2,983,213	2,983,213	☑
10.06	デンワ 9ガツパン	電話代 9月分	通	通信 費	0	7,219	内10	2,975,994	2,975,994	☑
10.07	ICSケータイ 9	社員用PHS 9月分	通	通信 費	0	140,100	内10	2,835,894	2,835,894	☑
10.11	ABCリョコウダイキ	社員旅行代金			0	1,388,200	内10	1,467,694	1,467,694	☑
10.12	××銀行	振替	[0001]大	当座 預金	1,400,000	0	内10	2,867,694	2,867,694	☑

検索記録(Insert) 検索枝宗(Hose) 転記開始

10.06	デンキ 9ガツパン	電気代 9月分	水	水道 光熱費	0	8,235	内10	2,983,213	2,983,213	☑
10.06	デンワ 9ガツパン	電話代 9月分	通	通信 費	0	7,219	内10	2,975,994	2,975,994	☑
10.07	ICSケータイ 9	社員用PHS 9月分	通	通信 費	0	140,100	内10	2,835,894	2,835,894	☑
10.11	ABCリョコウダイキ	社員旅行代金			0	1,388,200	内10	1,467,694	1,467,694	☑
10.12	××銀行	振替	[0001]大	当座 預金	1,400,000	0	内10	2,867,694	2,867,694	☑

銀行データ受信 (FinTech対応)  
〇〇銀行 当座  
転記を開始します。  
はい(Y) いいえ(N)

10.06	デンキ 9ガツパン	電気代 9月分	水	水道 光熱費	0	8,235	内10	2,983,213	2,983,213	☑
10.06	デンワ 9ガツパン	電話代 9月分	通	通信 費	0	7,219	内10	2,975,994	2,975,994	☑
10.07	ICSケータイ 9	社員用PHS 9月分	通	通信 費	0	140,100	内10	2,835,894	2,835,894	☑
10.11	ABCリョコウダイキ	社員旅行代金			0	1,388,200	内10	1,467,694	1,467,694	☑
10.12	××銀行	振替	[0001]大	当座 預金	1,400,000	0	内10	2,867,694	2,867,694	☑

銀行データ受信 (FinTech対応)  
転記終了 (9件)  
OK

## 2 こんな仕訳を作成するには

### 複合仕訳を作成する

#### ● 複合仕訳について

1つの仕訳が複数行にまたがる仕訳です。明細行を追加することにより、複合仕訳を作成できます。

例 8,235 円の水道光熱費（振込手数料 540 円）の支払があった場合

【複合仕訳】

諸口	8,235 /	普通預金	8,235
水道光熱費	7,695 /	諸口	7,695
支払手数料	540 /	諸口	540

【単一仕訳】

水道光熱費	8,235 /	普通預金	8,235
-------	---------	------	-------

ここでは、複合仕訳の入力手順のみを解説します。前後の処理は「仕訳データを作成する（通常表示）」をご覧ください。 [P.17](#)

#### 1 明細行を追加

① 複合仕訳を作成する金融データを選択します。

② [F9](#) 明細行追加 を選択します。

#### 2 金融データを編集

① 追加された明細行に「仕訳転記摘要」、「科目」、「出金」を入力します。



#### 複合仕訳の登録

摘要と複合仕訳は同時に登録できます。既存の摘要へ複合仕訳を登録する場合や登録済みの複合仕訳を編集する場合も [F11](#) 複合仕訳編集 を選択します。

[P.11](#)



## 3章

# こんなときは

### こんなときは

Q&A

24

## Q&amp;A

処理を行う上で困った場合や、操作方法がわからない場合にご覧ください。

## ● Q&amp;A 目次

- Q1. 自動で科目や摘要を設定するには
- Q2. 前回転記時以前の金融データを表示するには
- Q3. Moneytree と財務マスターの連携を解除するには
- Q4. Moneytree で金融機関の設定を変更した場合は
- Q5. 金融機関からデータを取得できない場合は
- Q6. ワンタイムパスワードの入力を求められた場合は
- Q7. 画像認証を求められた場合は
- Q8. 連携した財務マスターを削除するには
- Q9. 連携が確認できないと表示された場合は
- Q10. 連携した財務マスターをコピーするには
- Q11. 決算確定したマスターを処理できるようにするには
- Q12. バックアップしたマスターをリストアするには

## Q1. 自動で科目や摘要を設定するには

### A1. 摘要登録を使用します。

CSV 摘要を辞書へ登録すると、仕訳転記摘要や科目などを自動で設定することができます。

【摘要登録の手順】

- 1 登録する摘要を選択します。
- 2 摘要登録 (Insert) を選択します。
- 3 科目などを設定し、登録 を選択します。

No.	部門	科目	枝番	仕訳転記摘要	入金
		車 両 費			
		支 払 手数料			

## Q2. 前回転記時以前の金融データを表示するには

### A2. 日付指定を使用します。

[F6](#) の指定方法を「日付指定」にすることで、「通常表示」で表示されなくなった前回転記時以前の金融データを表示・転記できます。

## Q3. Moneytree と財務マスターの連携を解除するには

### A3. 「銀行データ受信 (FinTech 対応)」 から行います。

「銀行データ受信 (FinTech 対応)」→「銀行データ受信 (FinTech 対応)」のメニューバー「連携解除」→「連携を解除する」から連携を解除します。

解除処理を行う場合は、インターネットに接続している必要があります。

## Q4. Moneytree で金融機関の設定を変更した場合は

### A4. 金融機関設定を行います。

Moneytree で金融機関を追加、削除した場合は、再度金融機関設定を行います。

## Q5. 金融機関からデータを取得できない場合は

### A5. Moneytree で確認します。

Moneytree が金融機関にアクセスするために、秘密の質問、セキュリティに関する質問などの入力を行います。



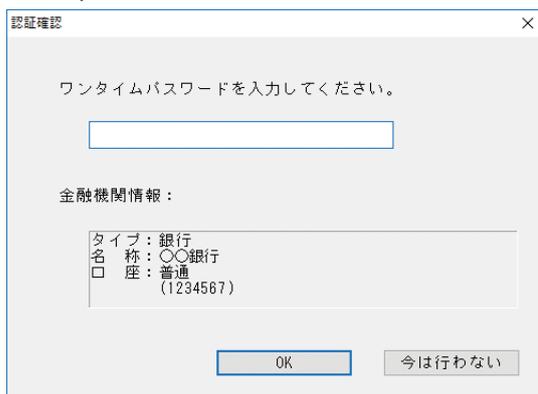
上記のようなメッセージを表示した場合は、インターネットブラウザで Moneytree にログインし、「こちらをご確認ください」などの表示がないか確認して問題を解決します。



## Q6. ワンタイムパスワードの入力を求められた場合は

### A6. 金融機関のサイトやアプリでワンタイムパスワードを確認します。

Moneytree が金融機関にアクセスするために、ワンタイムパスワードの入力を行います。



上記のようなメッセージを表示した場合は、ブラウザや専用アプリで金融機関にアクセスし、発行されたワンタイムパスワードを入力して認証を行います。

## Q7. 画像認証を求められた場合は

### A7. Moneytree で認証画像を確認します。

Moneytree が金融機関にアクセスするために、画像認証を行います。

認証確認

画像に表示されている文字を入力してください。

金融機関情報：

タイプ：銀行  
名称：○○銀行  
口座：普通 (1234567)

OK 今は行わない

上記のようなメッセージを表示した場合は、インターネットブラウザで Moneytree にログインして「こちらをご確認ください」などの表示から画像を確認し、入力して認証を行います。

口座残高 新規登録

全資産 ¥

すべての明細

銀行 ¥

○○銀行 画像認証が必要

こちらをご確認ください

戻る ○○銀行

画像認証が必要

言葉を入力してください。

よめか

入力してください

マネーツリーの利用規約と個人情報保護方針 Moneytreeに接続する

## Q8. 連携した財務マスターを削除するには

### A8. 「新規会社登録・修正・削除」から行います。

「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」の FinTech から財務マスターを削除します。※詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。

また、削除処理の際に Moneytree と財務マスターの連携を解除するため、インターネットに接続している必要があります。

新規会社登録・修正・削除

会社コード：00000001  
会社名：日本 I C S 商事株式会社  
を削除します。

当会社の選択された年度のデータが削除され、  
FinTechとの連携も解除されます。

削除してもよろしいですか？

はい(Y) いいえ(N)

## Q9. 連携が確認できないと表示された場合は

### A9. 再度連携処理を行います。

業務以外から Moneytree アカウントと財務マスターの連携を解除するなど、連携情報が正しくない場合に表示します。再度データを受信する場合は、連携処理を行います。

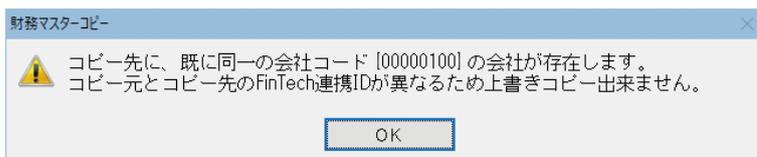


## Q10. 連携した財務マスターをコピーするには

### A10. 「財務マスターコピー」から行います。

「財務処理 db」→「通信・移動」→「財務マスターコピー」で財務マスターをコピーします。  
※詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。

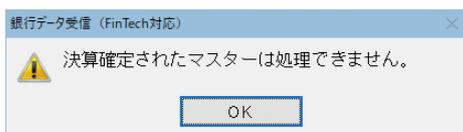
連携した財務マスターの場合は連携情報も含めてコピーします。連携した財務マスターに上書きコピーする場合は同じ連携情報の財務マスターを選択してください。連携情報が異なる財務マスターや連携していない財務マスターへは上書きできません。



## Q11. 決算確定したマスターを処理できるようにするには

### A11. 「新規会社登録・修正・削除」から行います。

「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」→「会計基本情報」の「決算確定」の☑を外します。※詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。



## Q12. バックアップしたマスターをリストアするには

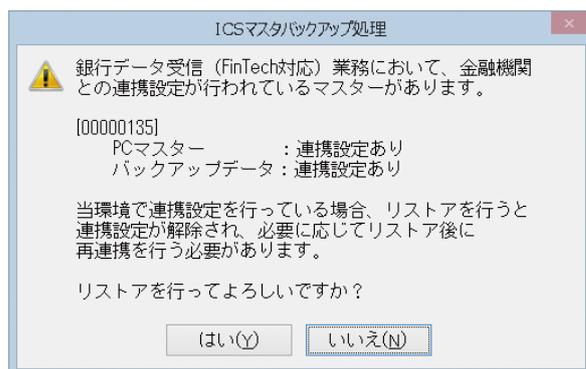
### A12. 「バックアップ・リストア」から行います。

「共通処理」→「db 導入・設定・印刷」→「バックアップ・リストア」から行います。

※詳細は「共通処理」マニュアルをご覧ください。

また、以下の場合はリストア処理後に連携情報を解除するため、インターネットに接続している必要があります。再度データを受信する場合は、連携処理を行ってください。

- ・マスター全体でリストアした場合
- ・業種指定でリストアした場合
- ・会社指定でリストアする際、現在のデータとバックアップデータで連携情報が異なる場合





# 索引

---

## C

CSV 摘要 ..... 13

## M

Moneytree ..... 2, 3, 4

## あ

相手部門 ..... 11

## え

枝番 ..... 11

## か

画像認証 ..... 12, 27

科目 ..... 10

科目残高 ..... 12

## き

金融機関設定 ..... 25

金融機関名 ..... 10

金融データ ..... 2, 3

## く

空白科目設定 ..... 10

## け

決算確定 ..... 28

## こ

口座種別 ..... 10

個人口座 ..... 4

〔今回受信時〕データ更新日時 ..... 12

## さ

最終同期日時 ..... 12

財務マスター ..... 2, 3, 13

## し

指定方法 ..... 10

種別 ..... 10

使用 ..... 10

詳細設定 ..... 10

仕訳データ ..... 3, 8, 13

仕訳転記摘要 ..... 12

## せ

〔前回転記時〕データ更新日時 ..... 12

## つ

通常表示 ..... 10, 17

通帳残高 ..... 12

## て

摘要コード ..... 13

摘要仕訳編集 ..... 11

摘要登録 ..... 13, 25

転記 ..... 17, 19

## と

当科目の仮残高 ..... 13

## に

二重取引チェック ..... 10, 18

## は

バックアップ ..... 29

## ひ

日付指定 ..... 10, 19

## ふ

複合仕訳登録 ..... 21

部門 ..... 10

## ほ

法人口座 ..... 4

## み

未確定科目数 ..... 12

## め

明細行 ..... 11, 21

## り

リストア ..... 29

## れ

連携 ..... 5, 28

連携解除 ..... 9

連携可能数 ..... 7

連携を解除する ..... 9, 25

## わ

ワンタイムパスワード ..... 12, 26